

「老後資産形成の社会実装に向けた諸課題の研究会 (新研究会2024)」の発足について

公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構
(<https://www.nensoken.or.jp/>)

公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構（東京都港区，理事長高山憲之）は，ティール・ロウ・プライス・ジャパン株式会社（東京都千代田区，代表取締役社長兼最高経営責任者本田直之）の協賛のもと，令和3年1月より「日本における老後のための資産形成に向けた基礎的条件に関する研究会」（令和4年2月に報告書を公表）及び令和4年11月より「老後資産形成に関する継続研究会」（令和6年1月に報告書を公表）において研究を進めてまいりました。今般、これまでの研究事業を継続するため、引き続き、同社の協賛のもと、新たに「老後資産形成の社会実装に向けた諸課題の研究会（新研究会2024）」（座長立教大学法学部 島村暁代教授）を立ち上げ、研究を行っていくこととしました。

これまでの研究会で示されました論点をふまえ、アセットオーナーシップ改革が進む中で、企業型DCをよりよくするために必要な制度改正、また、事業主、金融機関及び学会等が国民の資産形成を新たに共創するために何が必要かについて、外国の事例等も参考にしながら検討します。より具体的なテーマとしましては、DCガバナンス強化に向けた体制整備、DCの運用改善のためのナッジ、DC拡大のための制度環境整備の3つを扱います。

これらの課題を検討していく上では加入者等の制度に対する認識等も重要になってくるため、2018年に年金シニアプラン総合研究機構が実施した「私的年金の普及可能性に関する企業アンケート調査」などのアンケート調査も本研究会の活動の一つとして実施することを検討します。

調査結果は、2025年度中を目途に公表の予定としております。

〈 研究会委員（敬称略） 〉

今井淳一 ファイザー企業年金基金 常務理事

大利一郎 第一生命保険株式会社 DC・投信推進部長

楠神健史 ヤマト運輸株式会社 社員福祉センター マネージャー

島村暁代（座長）立教大学法学部 教授

田川勝久（アドバイザー）企業年金連絡協議会 専任顧問

寺澤恭輔 マーサージャパン株式会社 年金コンサルティング部門 プリンシパル

中村美江奈 野村資本市場研究所 副主任研究員

野村亜紀子（副座長）野村資本市場研究所 主席研究員

濱中昇一郎 富士通企業年金基金 DC担当部長

浜野健一(アドバイザー) 日本インベスター・ソリューション・アンド・テクノロジー株式会社 理事
福山圭一 公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構 上席研究員
藤田みさ子 株式会社仲臺事務センター 代表取締役
本田英都 アセットマネジメントOne株式会社 DC推進グループ 担当部長
山根承子 パパラカ研究所 代表取締役社長
横川雄祐 ティー・ロー・プライス・ジャパン株式会社
機関投資家アドバイザー部リレーションシップ・マネジャー
横田恵一 NEC企業年金基金 企画グループマネージャー

【お問い合わせ】 〒108-0074 東京都港区高輪1丁目3番13号NBF高輪ビル4階
公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構
(担当) 審議役 仲津留 隆
(電話) 03-5793-9411 (E-Mail) soumubu@nensoken.or.jp